



50ー850tの機械を備える成形工場

主な事業内容
プラスチックの成形加工、
水耕栽培システムの製造・販売など

主な取引先(納入先)
事務機器メーカー、自動車部品メーカー、
医療機器メーカーなど

主な製品
複写機部品、血圧計部品、
カテーテル部品、カメラ部品など

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- 試作可小ロット
- 量産対応

協和株式会社

お客様に寄り添い、可能性を創っていく

社長あいさつ

代表取締役社長
野澤 重晴さん

[with you,for you] (あなたとともに、あなたのために)。協和のキャッチフレーズであり、私のモットーです。お客様に寄り添い、可能性を作っていく。そのために、皆が自らの能力や可能性に限界を決めず、自分自身を磨いていけるような会社でありたいと思います。

主な保有設備

- 射出成形機 (50t~850t)
東芝製、三菱重工プラスチックテクノロジー製、ソディック製など 18台
- 取出口ロボット (70DL~800FM)
スター精機製、ユーシン精機製 16台
- 3次元測定機
(600mm×500mm×300mm)
東京精密製、キーエンス製 2台

ISO 9001
ISO 14001

住所 / 〒569-0062
高槻市
下田部町1-1-5

TEL / 072-674-1151
FAX / 072-674-1119

創業 / 昭和24年4月
設立 / 昭和28年7月
資本金 / 9,600万円
従業員 / 102名

強み
国内外10拠点の活用で、グローバル対応が可能

企画・設計から管理までの一貫生産体制を整えていることが強みだ。一貫生産で高品質の製品を納入できるものづくり力は、顧客の安心感につながっている。OA（オフィス・オートメーション）機器用部品をはじめ、カメラ・医療機器用などの精密部品、自動車用

協和は野澤重晴社長の父親である野澤重雄氏が創業し、昭和28年に設立した。台湾で製糖会社の技術者をしてきた重雄氏が戦後、異分野であるプラスチックに目を付けたのは、「これから成長する素材」と考えたからだ。「ハイポニカ」も創業者が研究を重ねた末に立ち上げた、植物が持つ潜在能力を最大限引き出せるシステムである。

協和は、射出成形によるプラスチック製品のメーカー。企画・設計から、金型製作、射出成形、二次加工、組立、管理まで幅広く対応している。また、別事業として、「ハイポニカ」と名付けた独自技術による植物の水耕栽培システムも製造・販売している。

業務内容
金型から一貫生産するプラスチック成形加工品

部品など、製造品目は多彩で、取引先は国内だけで150社を超す。もう一つの強みは、野澤社長によると「どこよりも早く海外に進出したこと」だ。現在、香港、中国、ベトナム、インドに子会社を持ち、国内外で合わせて10のグループ会社を活用して、グローバルに事業を展開する。グループ全体の海外売上比率は7割に達する。

環境配慮
地球環境に優しいものづくりに注力

プラスチックごみによる海洋汚染が社会問題となる中、協和は新たな事業として「地球に優しいプラスチック」を使ったものづくりに取り組んでいる。バイオプラスチックメーカーと組んで、トウモロコシやサトウキビなど、100%植物由来のプラスチックの開発を始めた。コストが割高になるという課題はあるが、「環境に優しい企業」というイメージの確立を優先させる。

1粒のトマトの種から1万7,000個の実がなるほどの木を育てることに成功した「ハイポニカ」事業。こちらも、ロックウールやヤシガラなどを使用しない環境に優しい事業だ。今後、海外市場の開拓を進める方針だ。



1万7,000個の実がなる巨木トマト



バイオプラスチックを使った製品



<https://www.kyowajpn.co.jp/>